



町の話

祝結婚50年、これからもお幸せに 金婚をお祝いする会

町の「金婚をお祝いする会」が10月22日、ふれあいセンターで開かれ、昭和33年に婚姻届を提出されたご夫婦32組が出席されました。

会では、はじめに高砂が謡われるなか、三々九度の祝杯が交わされ、50年間苦楽を共にし、支えあってきたご夫婦の金婚をお祝いしました。松田町長が「50年連れ添ったその幸せを地域の方たちに分けていただくよう、今後とも健康にご留意され、大切な二人での人生を歩んでいただきたい。」とあいさつし、出席されたご夫婦一組一組に讃詞と記念品を贈呈しました。

また、祝宴では唄や踊りが披露され、金婚のお祝いに花を添えました。



▲町から讃詞と記念品が贈呈されました



▲利用者の皆さんも握り寿司に挑戦

利用者の喜ぶ顔がみたい 秋田県調理師会「大秋会」県南支部

秋田県調理師会「大秋会」県南支部(赤川忠勝支部長)による料理の慰問が10月21日、後三年鴻声の里(進藤恭助施設長、利用者60人)で行われました。同支部によるこの活動は今年で14回目を数え、「利用者の皆さんの喜ぶ顔がみたい」と毎年続けられ、ホテルや旅館などで振る舞われる料理に、利用者の皆さんは顔をほころばせました。

「地域で暮らす誰もが、ふれあい・ささえあい・たすけあい 心の通い合うやさしい未来のまちづくり」 第5回美郷町社会福祉大会

美郷町社会福祉大会(町社会福祉協議会主催)が10月23日、仙南公民館で開かれ、町民など約340人が参加しました。

大会では、町社会福祉協議会の高柳照見会長より長年社会福祉活動に貢献のあった11人に表彰状、38人2団体に感謝状がそれぞれ贈られました。

また、共に手をつなぎ支えあう地域づくりの推進、心身共に生き生き暮らす健康・生きがい活動の推進、住民の手作りによる「福祉で地域づくり」の推進につとめることを盛り込んだ大会宣言を採択しました。このほか、福祉活動の紹介として、千屋小学校3年生の千畑福祉センターにおける職場体験、仙南西小学校の福祉交流活動、青森大学社会学部社会福祉学科に在籍する進藤晋さん(本堂西部)から元気な地域づくり～自殺予防について～の発表がありました。



▲大会宣言の実現を誓う万歳三唱

これまでの感謝を込めて 千畑中学校吹奏楽部 第7回定期演奏会

10月に埼玉県で開かれた東日本学校吹奏楽大会に初出場し、銀賞を受賞した千畑中学校吹奏楽部による定期演奏会(同部主催)が11月2日、ふれあいセンターで開かれました。

演奏会は、東日本大会出場を決めた「喜びの島」から始まり、クラシック、各パートによるアンサンブル、ディズニーメドレーなどのポップスの3部編成で行われました。終盤のお楽しみコーナーでは、部員らによる合唱も披露されるなど聞き応えのあるステージに会場からは大きな拍手が送られ、創部以来初めての快挙を成し遂げた部員の皆さんから、応援してくれた方たちへの感謝溢れる演奏会となりました。



▲定期演奏会フィナーレ、会場から大きな拍手が送られました



▲進藤施設長の指揮のもと、合唱を披露する利用者と職員
の皆さん

「さらに自分らしく輝いて」をテーマに 第1回後三年鴻声の里「鴻声祭」

第1回後三年鴻声の里「鴻声祭」が10月26日、同施設（進藤恭助施設長、利用者60人）で開かれました。「後三年鴻声の里」として初めての開催となった今回の施設祭。進藤施設長が「第1回目の開催に恥じないよう利用者・職員一丸となって歌などの練習を頑張ってきました。」とあいさつ。施設祭に訪れた皆さんは、その努力の成果である歌や演奏、そしてバラエティーショーなどを大いに楽しみました。

9年連続全国大会出場！ 六郷中学校吹奏楽部

六郷中学校吹奏楽部が、11月2、3日の両日、宮城県で開かれた第37回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会で金賞を受賞し、9年連続となる全国大会出場を決めました。

11月4日には、部長の岩田佐杜子さんが佐々木副町長を訪れ、全国大会出場を報告。岩田さんから「全国でも金賞」との力強い言葉がありました。

また、11月15日には、同中学校体育館でラストコンサートが開かれ、全国大会出場を決めた「MASK OF ZORO～正義の仮面は永遠に～」を披露。部員皆さんの感謝の気持ちがこもった演奏・演技に会場からは惜しめない拍手が送られました。なお、全国大会は12月21日から埼玉県さいたまスーパーアリーナで開催されます。



◀全国大会出場を報告する岩田さんら六郷中学校吹奏楽部の皆さん



▲ラストコンサートでは、全国大会に向けた激励の拍手とエールが送られました



◀熱弁する高橋幸宏さん

町内中学生6人が熱弁を展開 中学生防火防災弁論大会

中学生の防火防災意識を高めるとともに、地域住民の防火防災活動・意識の普及向上を図ることを目的とした平成20年度中学生防火防災弁論大会（県消防協会大崎市仙北市美郷町支部主催）が11月6日、仙南中学校体育館で開かれました。

大会には、町内3中学校から6名が出場。岩手・宮城内陸地震時の体験、消防団員の父からの言葉、身近すぎる火の危うさなど、さまざまな視点から見た防火防災について弁論しました。

最優秀賞には、「地域の和を、防火の輪に」の演題で発表した仙南中学校3年高橋幸宏さんが選ばれました。大阪の個室ビデオ店で起きた放火事件を取り上げ、孤独感などが放火の一因となっているとし、地域の中のコミュニケーションの大切さを訴えました。



町の安全と安心のために 交通指導員・防犯指導員辞令交付式

町の交通指導員および防犯指導員の辞令交付式が11月12日、六郷公民館で行われ、交通指導隊員30人、防犯指導隊員11人に、佐々木副町長から辞令が交付されました。

このたび辞令が交付された両指導員の任期は平成22年10月末までの2年間。“安全で安心できるまち”づくりのため、ご尽力していただきます。

